

測量の基準になる点を設置します

市では地籍調査を進めるために、今年、今津町日置前周辺に基準点を設置していきます。

地籍調査とは？

地籍調査は、土地の所有者や地番地目を確認しながら、土地の境界や面積を明確にするものです。これにより土地の測量ができます。その土地に関する正確な資料が作成できます。また、法務局は、地籍調査で作成された「地籍簿」で土地登記簿を修正し、「地籍図」を公図の代わりに使います。

地籍調査はこんなことに役立ちます！

地籍調査を行うと土地の境界がはっきりして、境界トラブルを防げます。
また、地震で土地の境界位置がわからなくなっても、容易に復元できます。



地籍調査で大切なこと

一筆地調査は原則として集落単位ごとに実施し、実施区域の自治会または集落で自発的に取り組んでいただく事業です。市では、そういった意志のある地区から地籍調査の要望があれば、体制づくりをはじめ、指導・支援のバックアップをするなど、今後も継続的に実施していく予定です。
原則として、地元負担金はいりませんが、土地所有者その他利害関係者の理解と協力が欠かせません。



市と国で設置する

基準点活用型の地籍調査事業

基準点を設置します

土地を測量するときには、必ず基準になる点が必要です。このため、市と国は測量の基になる次の基準点を設置し、地籍調査を効率的に進めていきます。

●市が設置する基準点(地籍図根点)

地籍調査区域周辺に測量基準点を設置します。設置する数は1平方キロメートルあたり3点以上です。今年の8月頃から設置する予定です。図のような表示になっているプラスチック角柱、コンクリート角柱または石柱などが地籍調査の基準点です。



●国が設置する基準点(四等三角点)

国土交通省では地籍調査を促進させるため、特に必要な地域に測量基準点を設置します。設置する数は2平方キロメートルあたり1点です。(平均的間隔1.5km)



圏住宅監理課 ☎(22)0048

春の

全国交通安全運動実施!

5月は新入学児童・園児が通学通園に慣れ始める時期です。車や自転車を運転するときは、私たち一人ひとりが交通ルールを遵守し、子どもたちや高齢者を交通事故から守りましょう。

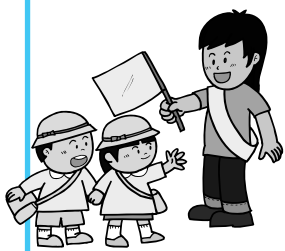
▼実施期間

5月11日(金)～

5月20日(日)

▼重点運動

- ・子どもと高齢者の交通事故防止
 - ・飲酒運転の根絶
 - ・自転車の安全利用の推進
 - ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシート
- の正しい着用の徹底
(交通対策課)



みんなが交通ルールとマナーを守って、交通事故のない安全な高島市にしましょう。

「ビジネスフォーラム 高島」

ビジネスプランの紹介

(最終審査応募プラン) (敬称略・順不同)

萩原由以子 (ギャラリーカフェ ゆや シトロヴェール)
工房Mamie-na マミーナ
上田 誠 (株式会社植空)
癒しの空間づくり
阿部 和子 (湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部)
たかしまエコ企画
永谷 武久 (大吉商店株式会社)
里山にある近江牛牧場。畜産業から農業へのつながりを考える。「大吉牧場」
藤原 実
ミニFM放送局の開設
神 始
朽木針畑川沿いの地域と自然を生かした「子どもたちが帰ってこれる・奥山地域創造事業」
坂下 道良 (楽農舎)
「楽農舎泰山寺のんびり農園」開設事業
神牧 智子 (KNS循環型社会研究会)
環の郷たかしまの持続可能なツーリズム見つけ隊！ by 高島コミュニティラボ
饗庭 利行 (東亜システムプロダクツ株式会社)
琵琶湖に生息するタケヤアシなどのバイオマス (植物材料)の有効利用による環境ビジネスの展開
荒木 康孝
小規模バイオマスエネルギー事業
新名謙多郎 (びわこバイオラボ株式会社)
バイオディーゼル燃料による循環型社会形成事業
是永 宙
棕川サポータークラブ (仮称)を募集し、地元の農産物や体験プログラムを提供する事業
舛木 陽子
人、自然にやさしい生活の提案～次世代につなぐ高島～



好きな高島で仕事をつくる・・・夢の実現に向けて

高島市では、地域資源を活用したビジネスを発掘・育成する機会として、ビジネスプランオーディションを開催しました。このオーディションは、優秀プランの選定ではなく、それぞれのプランの育成を重視しているのが特徴で、市内外から31件の応募がありました。選考過程を通じて研修会や個別相談の機会を複数回設定。プランを磨きながら、事業化に向けた一歩を応募者と市、アドバイザーがともに模索してきました。オーディションの最終ステージとして、3月25日に「ビジネスフォーラムin高島」を新旭公民館で開催し

ました。フォーラムでは、応募者を代表して最終審査の通過者がプランの内容や実現に向けたこれまでの活動、今後の夢を発表しました。発表者へは、会場から暖かい声援や審査員から激励のコメントが送られ、プランの実現に向けた本当のスタートラインに立ち、新たな一歩を踏み出す意志表明の場となりました。市では、高島で夢を現実にして仕事を創りたいとお考えの方々を応援するための仕組みを、引き続き設けていきたいと考えています。

乗ってふやそう 湖西線ダイヤ！

◇アンケート調査へのご協力ありがとうございました

交通対策課では、昨年12月6日に湖西線を利用されている方を対象にアンケート調査を行いました。回答では、ダイヤの増強や強風対策、エレベータの設置など多くのご要望をいただきました。皆さんからいただいたご意見やご要望は、湖西線利用者の声としてとりまとめJR西日本に要望しました。今後も湖西線の利便性向上のため積極的な要望活動に取り組んでまいります(湖西線ご利用アンケートの結果は、市ホームページ「くらしの情報」に掲載しています)。

◇湖西線の積極的なご利用を！

湖西線をより便利にするためには、乗降客数を増やすことが一番です。乗降客数は、実際に駅を利用した人数や、切符の売上金額などから計算されますので、市内各駅の積極的なご利用をお願いします。

- 通勤や通学、出張、お買い物などには電車をご利用ください。
- 回数券や定期券、切符(往復は市内の駅で購入してください)。

湖西線が便利になれば地域の発展にもつながります。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

(交通対策課)